



楽しい

## 幼稚園の給食

鹿野京子

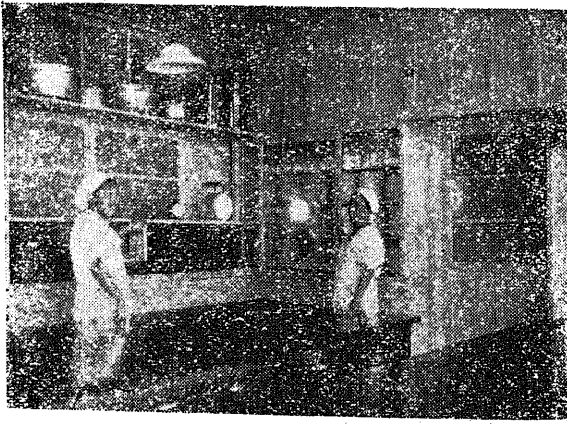
窓外は雪模様の寒々とした日ざしでしたが室内はストーヴが程よく燃え、頬を上気させた子供達は、今しも余念なくスプーンを口に運んで居りました。突然ガラリと入口の戸が開いて半身乗入れたのは、今日給食当番の此の組の児の母親の一人でした。稍ためらいがちに先生の方に一礼してから、今度はせかせかと吾子の傍に歩みよると、素早く皿の上の目を走らせ「まあ、○○ちゃん、あんた、此の午夢みんな食べられたの、うちでは今迄一度も食べたことがなかったのに——」吾子の顔と先生の方を半々に眺めながら、さも感に堪えた様に「やつぱり幼稚園の午夢は美味しいのねえ」食事のときまつて真先に元氣よく「御馳走様」を云う○○ちゃんは、恥かし相に、しかし得意気に頬をあからめてニコリとしました。

『果物卵以外は野菜お魚肉類殆ど何も頂かず困り切つて居ります。別に悪い所もなく大した病氣も致しませんの一向肥りません』入園の際の家庭調査にその様に報告されていたNさんは、小柄で顔色も冴えず、元氣一杯な他の男の児達の遊びの仲間には入らず、何時もボンヤリ眺めて居る様な児でした。今日は新入園児にとつてはじめての給食の日、色彩

りも美しく見るからに食欲さそ、る妙め御飯のお皿を前に「頂きます」の挨拶も待ち切れずいち早くスプーンを取上げて一口頬張る子供、お皿の上に腫が吸いよせられた様に動かぬ子供、やがて嬉々としたさゞめきの中に食事が始まりました。その中にNさんもまたゆつくりく一口宛スプーンを口へ運んで居ます。細かくきざまれては居ますが、彼の大嫌いな筍の人蔘、玉葱、ハム——氣づかはしげな先生の腫が「しつかりく」と無言のまゝ、励まして居ます。最後の一粒をも残さず食べ終えたNさんは、先生に頭を撫でられながら暗々と微笑みました。これは食糧事情が好転したので、幼稚園の完全給食を再開した頃のある日の所見です。

「お早うございます」の挨拶の口の下から「先生今日もお給食あるね」と朝毎に必ず念を押す子供達。棉宅しては「幼稚園と同じカレーライスつくつて頂戴」と母親にせがむ子供達——、もとより幼稚園の魅力のすべてが給食ではありませんが、とに角一番楽しいことの一つに数えられる給食です。

元来、学校給食は、貧困による欠食児童救済のための社会事に端を発し、それが更に虚弱児を対象にその健康増進を目的とする様



になり、やがて全児童の体位向上、健康確保を旨として行はれる様になりました、殊に戦時及び終戦後の困難な食糧事情の下に於ては其の意味で大きな役割を果たして来たのであります。しかし食糧事情の好転しつゝある今日に於ては更に給食を通じての正しい食生活の理解を目的とする健康教育として行はれる迄に發展致しました。

幼稚園に於ても、その教育的な観点からも万難を排しても給食の実現が望まれるのであります。然し之を完全に行うには、十分な施設（特に衛生上）と相当の人員（就中適当な担任者）を必要とする関係上、早急にはなからず、実現不可能な場合が多い現状の様です。

幸い、本園に於きましては可成り早くから完全給食を実施、好成績を挙げて居りますので御紹介かたたく拙い文字を綴りました。

本園に於ける給食の歴史は、昭和十四年に遡ります。

何分にも幼少の児を対象として行う給食です。種々な点に一方ならぬ苦心があります。殊に衛生方面には、人や施設や物やあらゆる面に厳しい注意が払われました。若し園児が胃腸障害を惹起したと致します。すると一応給食に疑念を向けがちになるのも親心として無理からぬことであります。實際栄養の点からは如何に完全な食物であつても衛生上些かなりと申分があれば、折角の栄養食も何の役に立たぬ許りか、その為に生命を危くする結果ともなる怖れがあります。

幸いにも本園に於ては、母の会の熱心な協力と支持の下に、給食担当者常に人を得、今日迄たゞ一回の事故もなく予期以上の好成績

績を収めつゝ、ありましたが、戦時下米穀の統制強化に及び止むを得ず一時中絶致しました戦後は暫時栄養としてスープ、味噌汁等の給食を行つて居りましたが、食糧、燃料等諸般の事情の好転に伴い、一昨年（昭和廿五年）十一月より再び週五回の完全給食を開始致し今日に至つて居ります。

本園給食の實際に就て簡単に申述べましよう。

先づ設備に就ては

昭和十四年設置以来、度々拡張、改善を行いました。

衛生上特に清潔維持に細心の注意を払つて居ります。例えば、採光、換気が完全に行はれるために窓は広くとり、防蟻のために金網が張つてあります。

其の他、材料搬入、調理、配膳、食器返還等の際の手数軽減と混雑防止に留意し、すべての作業が一貫して清潔にしかも整然と行はれる様、流し、調理台、炊飯器、ガスコンロ配膳台、配膳車、食器戸棚等の配置が考慮されて居ります。

食器は病気の伝染を防ぐため洗浄には特に注意し使用の都度煮沸消毒を行い翌日直ちに使用出来る様準備致します。

6月2日～6日

1週献立表

曜日	献立	蛋白質 g	脂肪 g	熱量 ca
月	御飯、とんかつ、お豆腐、れんこん、ピーナツ、和元	16.4	3.8	553
火	御飯、魚、みそ汁、揚げ豆腐	8.5	1.4	457
水	御飯、揚げ豆腐、ごぼう、そら豆	12.9	11.9	597
木	御飯、野菜、木下、みそ汁、お豆腐	7.7	12.1	503
金	御飯、白玉、お豆腐	15.0	4.5	515

組織は現在  
栄養士2名(中1名は給食主任)  
雑士婦1名  
事務1名 他に  
毎日母の会員3名宛が当番として手伝いま  
す。之は申す迄もなく給食の実際に母親の直  
接参加を求めることによつて団体給食の経験  
と、幼児食の献立、調理方法の実習、教育参  
観等を通じて、家庭に於ける食生活改善をも  
意図して居ります。子供達も、今日は僕の私

の、また祖のお母様の御馳走と大よろこび致  
します。

費用としましては

園児1名に就いて月四百円(材料費、燃料費  
人件費を含む)を徴収します。

○主食は米食とし年少児(3、4才児)一日  
当り7勺

年長児(5才児)同8勺を  
週5日分まとめて家庭より持参させます。

献立は

給食主任及び栄養士により前週にその作製を  
行い、当番の会員3名宛を配当し、『給食通  
信』として週一回園児の家庭に配布致します  
此処で献立作製の方針や、調理上の苦心等に  
就いて一言申述べます。

熱量は一食大体五百カロリーを標準と致し  
ますが、発育期の幼児の特質を考慮して、カ  
ロリーのみに重きをおかず、蛋白質の補給、  
無機塩類、ビタミンの配合に留意します。

殊に調理に当つては、すべての子供達、わ  
けても偏食癖の子供にも喜んで食べさせるた  
めに、栄養価値を損ぜぬ限り、美味しくしか  
も見る眼に美しくと非常な苦心が払はれて居  
ります。例えば、人蔘、玉葱などその栄養上  
の価値にも拘らず子供の嫌いな代表的野菜で  
すが、細かく刻み、分量や調味に手加減を加

え見るからに食欲を唆る「三色ずし」や「炒  
飯」にすれば子供達は知らずくよこんで  
頂きます。りんごの一片も兎の形に、夏みか  
んの一袋が蝶になつてお皿を訪れ或る日は密  
豆が色彩り美しく、給食ならではの  
す。其の上、食事が進むにつれ、皿の模様  
愛敬者の熊さんが、おなじみのきりんや象や  
さては可愛らしいお人形が現はれるのですか  
ら何とうれしいことでしょう。

しかも、夏にも腐敗、中毒の心配がなく冬  
はまたあたたかに湯気のたつ食事を摂ること  
が出来るのです。



序にて給食準備の模様をお知らせ致しまし  
よう。午前九時、先づ炊飯器のガスに点火さ

れます。専任の給食係はもとよりその日の当番の母の会員も甲斐なくしく服装を整えて、我家の台所で鍛えられた腕前が發揮される訳です。十時頃には各組別に正確な出席人員が報告されます。

十一時を少し過ぎる頃に、日々凡そ二百五十一七十名分の食事が調い、いよく配膳にかかります。



その頃、各保育室は当番の子供達が一入い、せいそと先生に手伝つて整然と片付けられ、清潔な白塗りの配膳車がベルを鳴らしつ、廊下を進んで来るのを待受けて居ます。

ランチ皿に御飯を型で抜く人、副食を盛り

合はせる人、盛付けを了えた皿を運ぶ人と流みのない流れ作業が行はれて、その間凡そ一時間で七室の配膳を完了致します。

いよく待遠しかつた食事が始められるので、眼を開けて静かに待つ子供達の真剣な顔々。

最後に

本園の給食に於きましても、決して現状に満足して居ります訳ではありません。日々反省し、常に工夫を計り、不備を改善しつ、よりよきものにと努力致して居ります。

食事も時折、園庭や遊戯室に於て全園児の会食を樂しむ以外、平素に各組別の保育室で使用致しますが、将来には理想的な大食堂の設置を考えて居ります。(感応幼稚園教諭)

(15頁より)

健康記録、生育史、家庭状況、校外生活の影響。そして家族中に弟妹が生れたこと、悪い家庭、病歴及び栄養失調歴、子供が学校で良い成績をあげるよう親から強制されること、家庭における無訓練、訓練過剰、ラジオの恐ろしい話及びその他の多くの条件は、子供の心の平和或はそれを欠くことに影響を与えている。家庭と学校間の良い協力関係がどうしても必要である。なぜならば前者或は後者が幼

児の不適應或は非行の基礎的原因にならないようにである。

どんな幼稚園が良い幼稚園であるかについて、種々述べてきたので、讀者は、幼稚園の教育が単に子供を半日間保護すること以上のものであることを、十分理解し得たであろう。幼稚園の教師は、大きな責任をもっている。教師が子供と協力する結果如何によつて、子供は幼稚園が好きにも嫌いにもなる。

さらに教師の同情的な指導が行われる場合とそれを欠く場合とを考えると、子供の学校生活は、前者においては、良く順応した熱心な幼児として、後者においては、スタートから障害を受けた、くぢけた、失敗した幼児として進んでいくのである。また教師の舵のとおり方一つが、子供の学校生活に対する親の永続的関心或は無関心に刺激を与える。教師の影響は、全く多種多様である。教師は特定の事実に対する教師であるよりも、むしろ幼児のガイドであり、指導者なのである。

(完)

☆

☆

☆

☆